

会 議 録

会 議 の 名 称	令和５年度第２回行田市女性活躍推進ネットワーク会議	
開 催 日 時	令和６年２月２２日（木） 開会：午前１０時００分・閉会：午前１１時４０分	
開 催 場 所	行田市男女共同参画推進センター 学習室	
出席者（委員）氏 名	山崎孝子委員（座長）、岡田恵美委員、吉澤篤人委員（代理人出席）、増田久美子委員、根岸桃子委員、西田信子委員、持田恵美子委員、上木孝子委員、宮崎理恵委員、川鍋和史委員、黒澤麻美委員、新井幸恵委員、細村稜幸委員（代理人出席）（名簿順、敬称略）	
欠席者（委員）氏 名	石井理央委員、小原正行委員、坂詰恭子委員、永島志津江委員、瀬山紀子委員、茂木美智代委員、高橋晃代委員	
事 務 局	堀口修司（所長）、風間和美（主任）	
会 議 内 容	（１）令和５年度女活躍推進事業について （２）令和６年度女性活躍推進事業計画案について （３）その他	
会 議 資 料	・ 会議次第 ・ 令和５年度女性活躍推進事業実施報告書 ・ 令和６年度女性活躍推進事業計画（案） ・ 親子講座から始まるアンケート結果 ・ チェックリスト ・ 令和４年度チェックリスト集計表	
そ の 他 必 要 事 項	傍聴者 ０名	
会 議 録 の 確 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 記 名
	令和６年３月２８日	山崎 孝子

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	・ 開会。 配布資料の確認。 ・ 本日の会議は、個人情報を取り扱う予定がないことから、原則公開とさせていただく。また、会議録については、委員名を明記の上、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて公開させていただく。 本日の傍聴希望者は 0 名
事務局	（１）報告事項の説明 ・ 本来であれば、その他のところでご意見等をいただくが、増田委員が都合により途中退席されるということで、埼玉りそな銀行の女性活躍に関する取り組みについて一言いただければと思う。
増田委員	・ 女性が活躍するにあたり、ワークライフバランス、結婚・出産・育児が頭を悩ませる時期だと思う。当社では、育児休業から復職する前に、不安解消に向けたセミナーを数回実施している。休業中においても、オンラインで社内研修をうけることができる。また、男性の育児休業を推進しており、取得数も増加傾向にある。そして、保育園に預けられないので復職できないという方のために、本社に保育園を設置している。
座長	・ 本社はどこにあるのか。
増田委員	・ 北浦和である。そのため、行田市在住の方の利用は難しいが、待機児童に悩まされている方は県南に多い事情もある。あとは、小学校 1 年生まで時短勤務が可能であり、その後の希望によってはスマート社員という形態で、短い時間で働くこともできる。早く復職した方には、早期復職手当をつけている。そのほか、家族の

座長	介護問題も増えており、介護休業を取得できるように制度化されている。 ・銀行には多くの女性が勤務しているので、このような制度が充実していないと業務に支障をきたしてしまうと思う。それから、今は子育てしながら働くのが当たり前の世の中なので、それに則した社内体制は素晴らしいと思う。何か皆様から意見はあるか。
西田委員	・私は小規模な農業を経営しているが、従業員の希望にできるだけそわないときももらえない状況だ。大企業は規約などで細やかな対応ができないと思っていた。介護や育児休業は今の時代当たり前にあるが、復職前にもケアされていることが素晴らしいと思い、学ばせていただいた。
座長	・こういうことをきちんとやっていけば、男女共に働きやすい環境になり、育児や介護など、いろいろな面で男女共同参画が進んでいく。 それでは議事に戻る。講座アンケートが良くまとめられている。感想も記載されていて、講座の様子がよくわかる。これまでの委員の意見をよく反映されていると思うが、岡田委員、何か意見はあるか。
岡田委員	・配布資料を確認したところ、改善されており、素晴らしいと思う。全体的に集客力がよくなっている。そのうえ、委員会での意見が反映され、参加者が学んで帰られているというのがどの講座からも分かり、すごく有意義な講座になっていると思う。親子講座や就職支援セミナーなど、定員に近い人数を集められている講座にどんどん力を入れ、参加者にゲームやセミナーで、男女共同参画の知識の拡散を図るのは非常に効果があると思う。今後もこの方向性を維持していただければと思う。 ところで、SDGs講座は、17項目全体を主としたものなのか、

事務局	男女平等を主としたものか、内容を知りたい。講座の時間配分についても教えていただきたい。 ・親子講座で行ったSDGs講座については、ゲームで遊びつつ、リサイクルで資源を大切に使うことを学んでもらった。その他の講座については、ジェンダー平等の意識啓発を中心とした内容である。SDGs講座に1時間から1.5時間程度の時間をかけ、メインの講座も1時間から1時間半、合わせて3時間程度となっている。参加者は大変そうだが、始まると真剣に取り組んでいる。事務局も2年目になり、要領よく進められている。
座長	・女性活躍推進ネットワーク会議が始まった当初から、公民館とは違う、いわゆる男女共同参画の講座だということをPRすべきだと意見してきた。ここまで進歩したことにうれしく思う。今回の報告を聞き、何か講座に参加したいと思った。松原委員、会社として取り組んでいることについて何かあるか。
松原委員	・当社は不動産業・建設業なので、女性従業員が男性と比較すると少ない中でも、子どもが小学校4年生になるまでは、1年更新で6時間または7時間の時短勤務を選択可能である。復職時期についても、事情により申し出があった場合には、社長と相談のうえ、延長措置を取っている。それほど大きくない企業なので、臨機応変な対応ができていると思っている。ただ、休業中は不安があると思うので、埼玉りそな銀行さんのように、休業中でもセミナーを受けられるような支援ができればと思った。 今回の就職支援セミナーは、当社も個別相談会に参加し、様々な年齢層の方と面接したが、皆様働きたいという意欲がすごく伝わってきた。自己啓発や資格の勉強をされている方が多かったので、そういった方にはすぐに就職できるよう支援したい。求職者の意見を直接聞けるのはありがたいので、今後もこのような機会があれば、ぜひ参加したい。

座長	・就職支援セミナーは会場が3市持ち回りのため、次回が行田市開催時にはぜひよろしくお願いします。根岸委員、まきば園は大きな団体だが、どのような取り組みをしているのか教えていただきたい。
根岸委員	・今は法人で、スタッフが約560人おり、パート従業員も多いので、やはり女性の方が多い。産休・育休に関しては、30年前から取り組んできており、様々な働き方のロールモデルが育っている。時短勤務、正規雇用からパートへ、パートから正規雇用へ切り替えて働く姿を、先輩が後輩に見せられることが、うちの一番大きな強みである。男性も育休を取るのが当たり前になってきており、短いと1週間、最近だと1年取るスタッフも増えてきている。女性は早く復帰したいが、男性は復帰したくないというケースもあるので、男性がパートで働くような世の中になってもいいと思う。男女関係なく前向きに仕事に取り組める人に、前向きに仕事に取り組める環境があって、本当の男女共同参画だと思っている。それと、NPO法人ぎょうだ市民's ネットの研修の内容に興味を持った。当法人が依頼して、同様の研修を受講することは可能なのか。 スタッフと話をする中で、女性が復職する際に一番必要なことは、家庭の理解であり、夫の考え方に左右されると感じている。女性がこのような研修に出てくるのも大変素晴らしいことではあるが、興味のない人たちにアプローチしていくために、企業に対して場を設けることができると、より広範囲に意識啓発ができると思う。
座長	・男女関係なく、多くの方が働ける場を整えていくことが、これからの目標になるだろう。上木委員は、埼玉県の男女共同参画担当課から見て、何か意見はあるか。
上木委員	・まず意識啓発講座のうち、親子講座については、男女同数程度の

事務局	子どもが参加していて、小さいときからジェンダー平等意識を育むような講座を開催していることは、とても意義があるように感じた。ほとんどの講座で、はじめにゲームなどを交えながら講義し、男女ともに意識を共有したうえでセミナーをやるという作りはとてもよく思う。全体的に女性活躍推進や、男女共同参画の意識啓発のために講座を企画していると思うが、ピラティス講座ではSDGsのジェンダー平等を学習しているのに、女性しか参加していないのは勿体なく思う。女性限定にしているのは、何か考えがあつてのことなのか知りたい。あと、料理講座を2種類行っていて、片方は男性に限定しているのはなぜなのか。ボイストレーニング講座でもジェンダー平等の話を入れて、それに必要な意見交換をするなど、就業に繋げるためのボイストレーニングであるという位置づけにした方がわかりやすいと思ったが、事務局の考えをお聞かせ願いたい。 ・ピラティス講座は、結果的に女性参加者しかいなかったものであり、女性限定にしたわけではない。男性料理講座については、佐間公民館との共催事業となっている。もともと開催していた男性料理講座が、前回の会議での意見を踏まえ、男女共に参加できるものに変更した。その後、佐間公民館が当施設の調理室で男性料理講座を企画していると知り、共催で行った。佐間公民館の事業となると、対象が佐間地区に絞られるが、共催することにより、市内全域を対象にでき、参加者増加を意図したものである。佐間公民館事務局は参加者の増加に喜んでおり、前回会議で望まれた若い男性の方の参加もスペアリブの方ではあったので、大変有意義だったと思っている。ただし、佐間公民館との共同事業なので、前段の講義を設けてはいない。ボイストレーニング講座については、就職面接時の自己表現において、声を届けることが重要であろうことから企画した。自分の気持ちを相手に届けることの大切さ、どのように発声すれば届くのかを学ぶことができたという感想がアンケートに記載されており、有意義だったと思う。応募者
-----	---

座長	は定員を超えていたので、大変人気の講座であった。 ・ボイストレーニング講座の感想を見ると、気持ちが前向きになったとある。話すということは当たり前のことだが、トレーニングを受けて自分の気持ちから変わるのは素晴らしいことだ。もし機会があれば、ぜひまたやっていただきたい。宮崎委員、何か意見はあるか。
宮崎委員	・多様な講座で集客が改善しており、事務局の努力が実ったと思う。幅広い年齢層の集客がされており、とても良い講座だと感じている。先ほど松原委員から、休業中の女性に対する情報について意見があったが、当課では働く女性のセミナーというのをオンラインで無料開催しているので、よろしければ活用していただきたい。
座長	・家に居ながらにしてセミナーを受講できる世の中になった。ぜひ生かしていただければと思う。黒澤委員、何か意見はあるか。
黒澤委員	・地域活動推進課ではN P Oの支援をしている。先ほど話が出たが、ぎょうだ市民’ s ネットは学校や市外でも講座を開催しているので、企業でも講座の依頼をすることは可能である。趣旨・規模・予算等の打ち合わせをしたうえで、対象に合わせた講座を企画していただけるので、ご相談いただければと思う。
座長	・新井委員、何か意見あるか。
新井委員	・私は仕事で起業家支援利用者への補助などを行っている。女性活躍と言うと、まだ活躍してないのかと思ってしまうが、女性の起業数はとても多い。あと、今はセミナーの参加者にS D G sなどの意識啓発をしているが、わざわざこのようなイベントに参加する方は、おそらく意識が高いと思う。もっと自然に拡散できるの

座長	が良いと思うので、例えば、かるたやカードを学童などに配布し、遊ぶ中で知ってもらおうというのも一つの方法だと思う。 ・意識啓発という意味では、小さい頃からゲーム感覚で学びながら自分のものにしていくというのは素晴らしいアイデアだと思う。これから生かしていただけたらと思う。廣兼委員、何か意見はあるか。
廣兼委員	・農業は力仕事が多いので、男性向け職業になってしまうと思うが、男女どちらでもできるものを作っていくための支援ができればと思う。あと、行田市が今、青大豆や枝豆を推していて、小学生向けの栽培教室をしている。母親と一緒に参加する方もいるので、そういうことが広がっていけば良いと思う。今は枝豆だけだが、芋掘りなど、農業と皆様が関われる場を作ればと思って
座長	・作ったものを食べるような豆腐作り体験もいいかもしれない。食生活改善推進員の持田委員、何か意見はあるか
持田委員	・5年度の事業報告を見ると、様々な料理講座を実施している。親子料理は、男の子が増えているので、女の子だけでなく、男の子にも関心を持ってもらっているのだと思う。それから、そば打ちにも女性が参加するようになり、これからは男女分けずに、一緒にやるのがいいと思う。食生活改善推進員協議会はいまだに男性がいないので残念である。
座長	・人事課の川鍋委員、何か意見はあるか。
川鍋委員	・就職支援セミナーは市外の参加者が多い。遠くから参加しているということは、それだけこのような機会を探していると推察できる。参加企業を増やすなど、このようなセミナーをより充実させ

	るのは必要ではないか。女性の年代によって就職先に求める条件が異なると思うので、会社・市がどのような人材を求めている、どのような働き方をしてほしいかを、お互いに理解し合える場として有意義に活用できるのではないかと思う。雇用する側が必要とする人材、どのようなところで働き、どのような仕事ができるかを知るだけでもキャリアアップに繋がると思う。もちろん、その場で就職決まるわけではないが、それをもとに次の段階につながるのではないかと思うので、ぜひ就職支援セミナーの充実を図っていただきたい。
議長	・ これからも長く続けられるようお願いする。では、（２）協議事項について事務局に説明を求める。
事務局	（２）協議事項の説明
座長	・ 事務局の説明に対して、意見や質問等あるか。これからの事業に生かせるので積極的に意見をいただきたい。
宮崎委員	・ 就職支援セミナーを充実させていこうというところではあるが、来年度は埼玉県女性キャリアセンター主催のものについては、オンラインで実施し、面接会は行わないことになっている。別に、面接会や説明会の機会を設けているので、そちらを活用していただきたい。いろいろなところで行なっているものを、整理を図ったものである。詳細は後ほど案内させていただく。
座長	・ 事務局との話し合いで良くなることを願う。西田委員はいかがか。
西田委員	・ 定員を超えるほど応募があったそば打ち講座の参加者が少ないのはなぜなのか気になるが、ほかは充実していて素晴らしくなっている。やはり次はオンラインに挑戦してもいいのではないか。内容的に難しいものもあるかもしれないが、ホワイトボードと講師

座長	だけを映すなど、やりようによってはさらにブラッシュアップされると思う。あと、農政課の農業体験や田んぼアートなどとコラボするのもいいと思う。 ・私もすごく進歩してきたと実感している。講座の様子を録画して配信出来ればと思う。上木委員、何か意見はあるか。
上木委員	・オンラインを活用することにより、出席できない方の参加を促す効果があると思うので、方策として進めていただきたい。あと、講座とあわせてSDGsやジェンダー平等の話をしているのは、意識啓発の点ですごく良いので、全ての講座で少しでも機会を作っていただきたい。それと、意識啓発講座の固定的な性役割分担意識の解消について、With You さいたままで出前講座を行っているので、活用していただけたらと思う。
座長	・いろいろな講座で意識啓発につなげられたらいいと思う。黒澤委員、何か意見あるか。
黒澤委員	・私も講座を企画しているが、対象を誰にするのか、何を学びたいか等、講座をつくるのに苦労している。多くの方の参加が見込めると判断して、女性向けの好印象メイク講座を企画したが、集客が難しかった。宣伝の努力足りないと思われるかもしれないが、市報・LINEでの配信や、若い女性が多い場所を回っても、想定より参加者が集まらなかった。有意義な講座だとしても、情報を届けて参加してもらうことは本当に難しいと感じている。親子向けは学校、高齢者向けは公民館や市報、LINEで集客できるが、20代から40代女性向けの情報発信に苦労している。再就職の支援は30代～40代の方が対象なので、内容がよくても苦労していると思う。共に励んでいきたい。
座長	・裏方の切実な悩みを聞かせていただきありがたい。やはり、良い

	講座はオンラインでも発信していくのがいいと思う。オンラインで講座について知った方が、今度は自分も行ってみようという流れができて、集客力に繋がると思う。来年度の計画案に関して何か意見はあるか。
岡田委員	・オンラインに挑戦するという意見に私も大賛成である。細心の注意が必要で、リスクも負ってしまうことにはなるが、SNSなどで拡散してもらえる仕組みを作っていくのはどうか。応募は少ないが、参加したら良かったという講座が他にもあると思う。実際に何が良かったのかなどを発信してもらい、それを見た方が参加したいと思ってもらえる仕組み作りを講座の中に入れると良いのかと思う。写真撮影の時間を設ける、集合写真を撮るなど、講座の中にそういう仕組みを作っていくのも一つの方法だと思う。そうすると、知らないところで宣伝してもらえて、講座やV I V Aの活動自体にも興味を持ってもらえれば、今後のオンライン講座などの集客にも繋がってくると思うので、検討をお願いします。インターネットで簡単に得られない内容を、実際に参加した方の視点を通じて伝えるような仕組みを作れたら、今後さらに良くなると思う。
座長	・5年度の男性料理講座の人数が、スペアリブは多くて、あんかけ焼きそばは少ないということは、簡単にできそうなものは興味を惹かれないのかもしれない。だから、そういう傾向を踏まえて内容を整えたら、もっと参加者が集まると思う。もったいないと思うのは、調理室は30名程度までは利用できるのに、定員が15名程度であること。もう定員に達したかもしれないと思われるような気もするので、もう少し多くすることを検討していただきたい。近年、男性の料理講座参加者が少ないが、興味がないのか。
廣兼委員	・私は料理を作るので興味がある。

座長	・参加人数を増やすためにはどうすればよいか。
廣兼委員	・メニューによると思う。材料や調味料、スペースなどが必要になってくる料理だと、自分ではできないから参加しようと思うかもしれない。先ほどSNSの話が出たが、行田市観光魅力発信SNSアンバサダーとして「さいぼん」氏と契約しているので、動画作成やSNS講座の講師依頼をしても良いと思う。農政課では、行田はちまんマルシェの動画作成とSNSの簡単な講座を依頼した。講座は急な開催にもかかわらず、想定を超える方に参加していただいた。さいぼん氏は県のアンバサダーもしている。せっかく行田市に住んでいるので、依頼してはどうか。SNSで、どのように発信すれば良いのかわからない方も多いので、若い方にも魅力的に映ると思う。
座長	・素晴らしい意見である。やはりこれだけの人数が集まると良い意見が出て、進化していることが実感できる。新井委員、何か意見はあるか。
新井委員	・私は前もって予定を入れることがなかなかできない。講座情報を見た時は参加したいと思うが、実際にその時間になったら他に予定ができるかもしれないと考えると、申し込むのを躊躇してしまう。わざわざ講座のために出かけるより、他の目的で集まるところへ最後の10分だけ話を聞く、そんなニーズもあると思う。そのぐらいでも意識が変わる方もいるので、何かイベントがあるところに出向いて話をすることの、検討の余地はあると思う。
座長	・根岸委員、今の話を聞いて意見はあるか。
根岸委員	・オンラインのセミナーを増やすのは、個人的には難しいと思う。オンラインとなると、ライバルが全国に広がる。既に同じような

	内容の動画がたくさんアップされており、より専門的な内容もある中で、そこと戦うにはあまりに小規模だと思ってしまう。行田市という場所で、セミナーに来るメリットを考えると、横の繋がりを作ること、行田市に同じような若い人がいることを知ること、行田市が市民のために頑張っているのを実感してもらうことが、市民にとっては良いと思った。あと、誰を対象にするのかはすごく重要なので、どんな年齢層の人に来てもらいたくて、その年齢の人に情報を届けるためのアプローチを考えるというのは、企業と同じだなと感じている。
座長	・オンラインの懸念点を出していただいた。多くの方に届けるというとオンラインが適していると思ってしまいが、そう単純ではなさそうである。コロナ禍を経て、オンラインが当たり前の世の中になってしまい、人と人との繋がりが段々弱くなっていると感じている。そういう意味で、この会議はいろいろなジャンルの方がたくさん意見を出してくれて、ありがたいと思っている。持田委員、何か意見はあるか。
持田委員	・私はオンラインは全然ついていけないが、LINEでよく市長のいろいろな話を聞いている。年に1回ぐらいは、市長にVIVAを宣伝をしてもらえないかと思った。講座だけで意識啓発するよりも、広報の仕方も考えた方が良いのではないか。公民館とは違うということが、一番皆様に知ってほしいところだと思う。
座長	・議事のその他として、皆様の働いている職場の取り組みやイベントをPRしていただけたらと思う。松原委員からお話いただく。
松原委員	・弊社では主に不動産業・建設業をしており、行田市を中心に栃木や茨城、関西では尼崎にも支店を設けている。ここ数年で新たな取り組みとして、ファーム事業としてブルーベリー農園など始めた。行田市内外の方が設備体験など、楽しめるようなプロジェク

	トができればと思っている。この会議で出た意見を踏まえて、収穫して何かを作る親子イベントなどができないか検討しようと思う。女性活躍推進に関してはまだまだお世話になることが多い。まずは、働く女性セミナーに積極的に案内するなど、少しずつでもフォローができればと考えている。
座長	・西田委員、いかがか。
西田委員	・北埼菌茸センターでは、南河原小学校などに社会見学に来てもらったこともある。就職支援等の取組みで協力できることがあれば、お声がけいただきたい。 先ほどのオンラインの件だが、動画を収録して流すものや、リアルタイム通信で質疑応答ができるようなものなど、いろいろある。Webにある、どこよりもいいものでなくてはならないということではなく、市民が求めている事柄と合っているのかが重要だと思う。レベルの高低は置いておいて、講座等を、V I V A ぎょうだが発信しているということを、限られた人数だけでなく周知できたら良いと思う。
座長	・根岸委員、いかがか。
根岸委員	・まきば園では、コロナが落ち着いてきたので、少しずつ外部との交流を増やしていきたいと考えており、学生や、キッチンカーでコーヒー販売している方を招くなどしている。4月から給与の改定があり、介護職というものが男女問わずできる仕事だということ、お金をきちんと稼げる仕事だということ、3Kもない仕事だということを少しずつ広めていくために頑張っている。
座長	・岡田委員、いかがか。
岡田委員	・私は他の事業所が、働きやすい職場作りを、どのように取り組ん

座長	でいるのか、知る機会がなかった。皆様の事業所のお話を持ち帰り、商工会議所でもこのような内容を広報する仕組みを作る提案をしていきたい。
事務局	・事務局から何かあるか
座長	・情報紙V I V Aは作成中のため、完成後ただちに郵送する。 このネットワーク会議は、様々な企業や団体との交流の場として活動している。この会議に参加していただける企業があれば紹介をお願いしたい。
事務局	・それでは、本日の議事は全て終了となる。これをもって座長の職を解かせていただく。 ・オンラインの話が出て3年ほど経過するが、機材や講師との関係で未だにハードルが高い。実現に向けて前向きに検討しているので、よろしくお願いします。 次回会議は 7 月に開催を予定している。詳細が決まり次第、通知差し上げる。以上をもって閉会とする。 ● 閉会

--	--